

Windows Vista / 2008 / 7 操作上の注意事項

弊社製品をお買い上げ頂き、誠に有難うございます。

Windows Vista / Windows Server 2008※ / Windows 7 環境におきまして当製品をご使用の際には UAC (User Account Control: ユーザーアカウント制御) により、下記の問題が発生します。

お手数ですが下記の内容を確認し、項番2の対策を対応願います。

※ビルトイン Administrator アカウントをご使用の場合、問題は発生しません。

1. 問題

1.1 設定ファイル等の保存場所が変更される

“C:\Program Files”や“C:\Windows”フォルダは UAC によって保護されており、これらのフォルダへ対しての変更や書き込みはユーザーの代替のフォルダへ保存されます。

そのため、設定ファイル等が通常のフォルダとは別の場所に保存されます。

・通常のフォルダ

“C:\Windows\system”

・UAC による代替フォルダ

“C:\Users\[ユーザー名]\AppData\Local\VirtualStore\Windows\system”

なお、UAC により設定ファイル等の保存場所が変更されても通常の動作に問題はありません。

但し、二次局の場合に、終了情報表示画面から「メモ帳で開く(M)...」ボタンを押した際、通常のフォルダを参照してしまいファイルを開く事ができません。(一次局の場合は、保護されたフォルダに終了情報ファイルを保存するように設定すると、同様の現象が起こります。)

1.2 サービスマネージャが実行できない

一次局サービスマネージャ及び二次局サービスマネージャを実行しようとする、Administrator 権限を要求する警告ダイアログが表示されて、サービスマネージャを実行する事ができません。

これは、UAC では管理者権限を持つユーザーであっても、通常の操作は一般ユーザーと同じ権限で実行されるようになっており、システムの設定に影響を及ぼすような操作は管理者権限が要求されるようになっているためです。

2. 対策

2.1 管理者として実行する

プログラムを管理者として実行することで、UAC により保護されたフォルダが使用できるようになり、サービスマネージャも実行できるようになります。

但し、管理者として実行した場合でも、操作を許可するか否かの警告ダイアログが表示されるため、毎回手動で操作を許可する必要があります。

(方法 1) プログラムまたはショートカットの右クリックコンテキストメニューから、「管理者として実行(A)...」を選択します。

(方法 2) プログラムまたはショートカットのプロパティを開き、「互換性」タブで、「管理者としてこのプログラムを実行する」にチェックを入れて「OK」ボタンを押します。これにより、常に管理者権限で実行する事ができるようになります。

2.2 UACを無効化する

セキュリティ上推奨されていませんが、UACを無効化することで従来のWindowsと同じように動作するようになります。

・Windows 7 の場合

- (1) コントロールパネルから、[ユーザーアカウントと家族のための安全設定]-[ユーザーアカウント]-[ユーザーアカウント制御設定の変更]と選択します。
- (2) ユーザーアカウント制御の設定ダイアログボックスが表示されるので、でスライドを「通知しない」に設定して「OK」ボタンを押します。
- (3) UACによる警告ダイアログが表示されるので「はい」を押して、OSを再起動します。

・Windows Vista / 2008 の場合

- (1) コントロールパネルから、[ユーザーアカウントと家族のための安全設定]-[ユーザーアカウント]-[ユーザーアカウント制御の有効化または無効化] または、[ユーザーアカウント]-[ユーザーアカウント]-[ユーザーアカウント制御の有効化または無効化]と選択します。
- (2) UACによる警告ダイアログが表示されるので「続行(C)」ボタンを押して先へ進みます。
- (3) 「ユーザーアカウント制御(UAC)を使ってコンピュータの保護に役立たせる」のチェックをはずして、「OK」ボタンを押します。
- (4) OSの再起動を促すダイアログが表示されるので、「今すぐ再起動する」を押して、OSを再起動します。

3. 注意

通常のフォルダと、UACによる代替フォルダの両方に設定ファイル等が存在する場合、予期せぬ動作をする恐れがあります。

運用の際はどちらか一方に統一して、もう一方のファイルは削除するようにして下さい。

以上